

## 【資源循環型社会の構築への貢献】

JRA では、資源循環型社会の構築への貢献に向けた取組みとして、競馬開催に伴う排出物や事務エリアで発生する排出物のリサイクルと、競馬事業に伴い発生する排出物の総量抑制を積極的に推進しています。

### (1) 開催系排出物(注1)および事務系排出物(注2)のリサイクルを推進する

注1：競馬場・ウインズ・エクセルから排出された排出物

注2：競馬場・ウインズ・エクセル以外の事業所から排出された排出物

#### ① 開催系排出物の分別回収

競馬開催日には多種多量のごみが排出されますが、これらをリサイクルするために重要なのは、リサイクル可能なものを選別すること、すなわち「分別回収」です。

ごみの分別回収で最も効率的なのは、早い段階で「リサイクル可能」なものとは「それ以外」のものとは分別することです。

このため、競馬場やウインズに「分別ごみ箱」を順次設置し、お客様がごみを分かりやすく捨てることができるようにしており、これらの配置方法についても工夫を施しています。



分別ごみ箱

また、一部の競馬場やウインズでは、不的中の勝馬投票券や記入ミスがあったマークカード専用のごみ箱を自動発売機付近に設置し、紙ごみの分別回収を推進しています。



紙専用ごみ箱

## ② ペットボトルのゼッケンへのリサイクル

競馬場やウインズ等においては、施設内での販売や、お客様の持込みなどにより、非常に大量のペットボトルがごみとして排出されています。

その中で、東京・中山の各競馬場では、回収したペットボトルの一部を、繊維化（再生ポリエステル綿）し、レースや調教に用いるゼッケン、清掃スタッフなどのユニフォーム材料布としてリサイクルしています。これは、「競馬場で出るごみを競馬の中でリサイクルする」という JRA ならではの取り組みです。

競馬場で回収したペットボトルがリサイクルされる工程は、以下のとおりです。



### ③ 払戻済勝馬投票券・回収マークカードの全量リサイクル

お客様の勝馬投票により、自動発売機への投入や発売窓口で回収したマークカードは、全てリサイクルし、上質紙などに生まれ変わります。

また、払戻後回収した勝馬投票券についても、段ボールなどの再生紙として全てリサイクルされています。



回収されたマークカード

## (2) JRA 全体の排出量総量を抑制する

### ① ペーパーレスへの取組み

お客様エリア以外のオフィスエリアで発生する紙ごみを削減するため、各種書類の電子データ化や社内ネットワークによる資料のペーパーレス化、封筒の再利用、両面印刷や2アップ印刷（用紙1枚に2ページ分印刷）による印刷用紙の減量などペーパーレスの取組みを推進しています。

### ② スマッピー投票・キャッシュレス投票等の省資源型発売システムの導入

JRA では、「馬券レス」の投票サービス「[UMACA 投票](#)」や、「マークカードレス」で勝馬投票券が購入できる「[スマッピー投票](#)」といった省資源型発売システムを導入しており、競馬場やウインズから排出される勝馬投票券やマークカードといった紙ごみの削減に繋がっています。UMACA 投票機は全競馬場や一部のウインズに導入されており、また、スマッピー投票は UMACA 投票機で利用できるほか、一部の事業所に導入されている最新の発売機でも利用できます。

今後も省資源型発売システムの導入事業所を順次増やしていき、紙ごみの減量を推進してまいります。

### ③ マークカード・マークカード記入用鉛筆回収ボックスの設置

ごみの排出量を削減する取組みのひとつとして、投票マークカードやマークカード記入用鉛筆の回収ボックスを設置し、フロアなどへの散乱を防止するとともに、可能な限り再利用できるようにしています。お客様におかれましても、使用後は回収ボックスを

ご利用くださいますようお願いいたします。



鉛筆回収ボックス

### (3) その他の取組み例

#### ① 一部場内売店における飲料のプラスチックカップの使用廃止

現在、海に流れ出たプラスチックごみによる海洋汚染が地球規模で問題となっており、世界全体で解決に向けた取組みが始まっています。そこで、JRA においてもプラスチックごみの削減への取組みとして、2020 年より、全競馬場内の全ての「Two days」およびその他の一部売店等において、プラスチックカップの取扱いを廃止し、紙カップへと変更しています。